

公益社団法人 日本産業衛生学会
2023年度事業報告

<公益目的事業>

I 産業衛生に関する学術集会、講演会、研修会等を開催した。

1. 第96回日本産業衛生学会（関東地方会担当、諏訪園靖企画運営委員長）
2023年5月10日～12日（宇都宮市（会場およびライブ配信））
2023年6月1日～26日（オンデマンド配信）
メインテーマ「強くしなやかな産業保健をめざして」
2. 第33回日本産業衛生学会全国協議会（北陸甲信越地方会・産業医部会・産業保健看護部会・産業歯科保健部会・産業衛生技術部会担当、小林正洋企画運営委員長）
2023年10月27日～29日（甲府市）
2023年11月13日～12月11日（オンデマンド開催）
テーマ「多様化する社会と産業保健」
3. 9地方会開催の学術集会、研修会、講演会等
4. 4部会開催の学術集会、研修会、講演会等
5. 関連学会連携シンポジウム

II 学会誌、学術図書の刊行、及び産業衛生に関する資料の収集、編さんを行った。

1. 学会誌（編集委員会）
 - ・和文誌：「産業衛生学雑誌」（第65巻：6冊隔月発行）
 - ・英文誌（オンラインジャーナル）：「Journal of Occupational Health」（Vol.65）
 - ・英文誌（オンラインジャーナル）：「Environmental and Occupational Health Practice」（Vol. 5）年間を通して発行し、会員に配布するほか図書館等に寄贈した。掲載の学術論文はホームページ等で公開した。
2. 視覚教材（生涯教育委員会）
産業保健専門職の生涯教育の教材となる具体的な良好実践事例(GPS: Good Practice Samples)を収集、編さんし、ホームページ上で公開、提供した。
3. その他、必要に応じた資料の収集、編さん
 - ・「職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド」を更新した。

III 許容濃度等、産業衛生に係わる各種基準等を勧告した。

1. 許容濃度等の提案、勧告（許容濃度等に関する委員会）
化学物質の許容濃度、高温・低温・騒音・振動等の物理的要因の許容基準等を提案した。新規勧告値および勧告値の改訂を行った。

IV 産業衛生専門職の研修教育を行い、資格認定を行った。

1. 学会認定専門医および専攻医（専門医制度委員会）
専門医資格認定試験、専攻医資格認定試験を実施した。指導医及び専門医の更新、専門医からの指導医認定を行った。
2024年2月現在の登録数：指導医535名、専門医162名、専攻医283名
2. 産業保健看護専門家（産業保健看護専門家制度委員会）
産業保健看護専門家制度登録者認定試験、産業保健看護専門家認定試験を実施した。
産業保健看護専門家及び産業保健看護上級専門家の更新、産業保健看護専門家からの

産業保健看護上級専門家の認定を行った。

2024年1月現在の登録数：上級専門家95名、産業保健看護専門家229名

V 10 常設委員会活動を行った。 1 非常設委員会活動を行った。

(1)編集委員会 (2)許容濃度等に関する委員会 (3)生涯教育委員会 (4)政策法制度委員会 (5)専門医制度委員会 (6)倫理審査委員会 (7)利益相反に関する委員会 (8) 産業保健看護専門家制度委員会 (9)学術委員会 (10)広報委員会 (11)ダイバーシティ推進委員会 (非常設)

VI 9 地方会活動を行った。

各地方に根差した産業衛生に関する活動を行った。(地方会学会、研修会、研究会、研究助成、シンポジウム等の開催、機関誌発行による情報発信等)

(1)北海道地方会 (2)東北地方会 (3)関東地方会 (4)北陸甲信越地方会 (5)東海地方会 (6)近畿地方会 (7)中国地方会 (8)四国地方会 (9)九州地方会

VII 4 部会活動を行った。

(1)産業医部会 (2)産業保健看護部会 (3)産業衛生技術部会 (4)産業歯科保健部会

VIII 29 研究会活動を行った。

(1)産業疲労研究会 (2)振動障害研究会 (3)職業性呼吸器疾患研究会 (4)中小企業安全衛生研究会 (5)産業中毒・生物学的モニタリング研究会 (6)産業精神衛生研究会 (7)作業関連性運動器障害研究会 (8)アレルギー・免疫毒性研究会 (9)労働衛生史研究会 (10)健康教育・ヘルスプロモーション研究会 (11)温熱環境研究会 (12)労働衛生国際協力研究会 (13)就労女性健康研究会 (14)産業疫学研究会 (15)産業保健情報・政策研究会 (16)職域における睡眠呼吸障害研究会 (17)職域における喫煙対策研究会 (18)医療従事者のための産業保健研究会 (19)産業栄養研究会 (20)エイジマネジメント研究会 (21)産業心理技術研究会 (22)雇用と就業の多様化研究会 (23)騒音障害防止研究会 (24)職域救急研究会 (25)海外勤務健康管理研究会 (26)第一次産業労働安全衛生研究会 (27)産業保健AI研究会 (28)遠隔産業衛生研究会 (29)行動変容を支援する面接研究会

※上記のうち、(24)職域救急研究会は、2023年度末をもって解散した。

IX 国際交流を行った。

1. 国際労働衛生会議 (ICOH)、アジア各国の産業衛生関連学会との交流等を通じて産業保健における国際貢献を行った。

2. 持続可能な産業衛生のためのアジア研究プロジェクトを実施した。

X 協賛・後援など。

11の学協会の開催について、協賛・後援した。(協賛8件、後援3件)

<法人運営事業>

1. 理事会4回、総会1回を開催した。

2. 表彰制度に基づき、2022年度に選考した学会賞1名、奨励賞2名、功労賞1名と、名誉会員に推薦した1名を表彰した。